

最期のときまで安心して暮らせる
東京を目指して

Active Fukushima

第31号
2017.12

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 広報誌「アクティブ福祉」

特集

外国人介護職員を受け入れる ための制度と実践

● 連載

ここがポイント!次期報酬改定 第2回

● TOPICS

「ケアの底力、見せます。」
第12回高齢者福祉実践・研究大会
「アクティブ福祉in東京'17」開催報告



f 更新中!



- 「東京の介護ってすばらしい!グランプリ」受賞施設(作品)決定!
- 施設廃止に向けて
- 共助の力で安全に長く生活が続けられる施設を目指して
- 新潟県内支援センターとの交流研修開催!

- 「東京ケアリーダーズ」メンバー紹介
- 私の心に残るエピソード
- 福祉職場の「リア充」さん!

外国人介護人材を受け入れる意義 とその方法について

●東京家政学院大学 教授 にしぐち まもる 西口 守

はじめに

外国人介護人材がいろいろなところで話題になっています。国としては、外国人介護人材は、我が国の介護人材不足解消という文脈で語られるべきではないという主張です。それは正論ですが、介護人材不足の影響を全く受けていないかといえ、それはそうとは言いきれないことは誰にもわかっています。ただ理念としておさえておきたいことは、我が国が介護人材不足であろうとなかろうと、外国人との共生社会を歩まねばならないのだということです。現在の我が国の外国人介護人材の就業率は0.3%と国際的にみて低いといわれ、今後我が国で外国人介護人材が尊厳を持って受け入れられ、また介護の現場で安定的に日本人と共に仕事をすることができるかという今まで経験したことのないチャレンジを国際社会は注視しているように思います。

外国人介護人材の採用方法

我が国には次のような外国人介護人材の採用方法があります。

- (1) E P A (経済連携協定)
- (2) 技能実習制度
- (3) 在留資格介護

他にも留学生の資格外活動(アルバイト)、日本人配偶者をもつ方、永住権を持つ方などが介護サービスを提供することができます。今回は主に(1)(2)(3)について説明します。(記載内容は2017年12月現在のもの)

(1) EPA (経済連携協定)

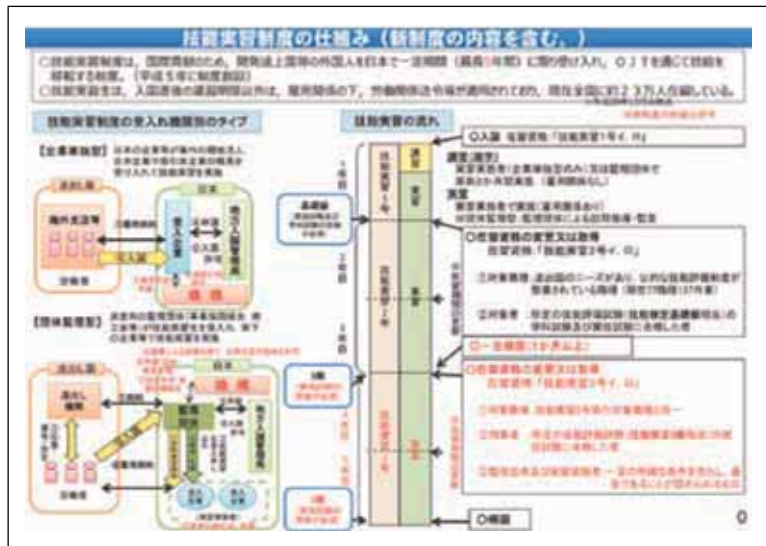
我が国は現在、介護・看護の分野ではインドネシア、フィリピン、ベトナムの3カ国と連携協定を締結しています。これらの国々で一定以上の語学力と現場経験を有する人々を国際厚生事業団が唯一の窓口として、施設で採用できる仕組みです。このなかでは、施設と応募者とのマッチングが行われ、双方の意思を尊重した採用が行われています。

この制度は、学歴水準も日本語力も高い方が多く、施設からの採用希望が高いために、なかなかマッチングが成功しないともいわれています。また、定められた期間内で介護福祉士資格を取得することが前提のため、取得できなかった場合は帰国となります。ちなみに2017年に実施された試験では、全体の合格率が70%程度であったにもかかわらず、E P Aの方の合格率は45%程度で、ここが一つの問題です。またたとえ介護福祉士を取得しても帰国する方も多く、施設の安定的な介護人材の確保という点でも課題があります。

(2) 技能実習制度

技能実習制度とは、我が国の国際貢献の一つとして行われています。仕組みは本国である仕事をしていて、それと同じような仕事を日本で実習し、そして5年後(最大)には、本国で一定期間以上その仕事(技能)を移転し、展開するというものです。もともとこの制度は、人権侵害事案の問題などで国際社会からも批判も高く、今回技

能実習法をつくり、人権に配慮した仕組みに修正されています。この中に2017年11月より「介護」が追加され、一定のルールの中で介護の現場でも外国人が働くことができるようになりました。ただ来日時の語学力が一定程度あることを示すN4（※参照）で1年後にはN3になることが求められます。また最長滞在期間が5年で、5年後は必ず帰国しなければなりません。技能実習生も介護福祉士の国家試験に合格すると介護福祉士にはなれますが、これをもって5年以上の滞在が許可されるわけではなく、帰国後に介護福祉をもって再来日することはできません。詳細は図1を参照ください。



【図1】 技能実習制度の仕組み(出典:厚生労働省)

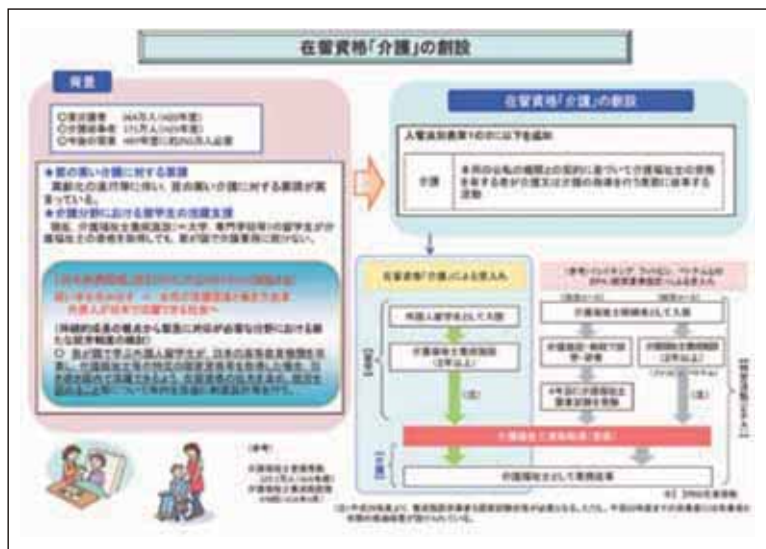
(3) 在留資格介護

この制度は、介護福祉士養成校（以下、養成校という）を卒業し、介護福祉士を得たものを高度介護人材として位置づけ、それらの方々に最大5年の「在留資格介護」を与え、また本人が望む限り繰り返しの更新を認め、日本での介護従事者としての安定的な労働環境を与えようとするものです。

この資格を得るためには、日本の養成校を卒業して国家試験に受からねばならず、そのハードルは決して低くはありません。ただ当面は、養成校を卒業すれば、介護福祉士試験の可否を問わず、一定の条件をクリアできれば介護福祉士になれるので、まずは養成校で学べる力をつける必要があります。

なお、外国から直接養成校に入学する場合はN2が必要となり、それがない場合は、日本の日本語学校で相当期間以上学び、N2相当（くらい）になれば養成校への入学できます。いずれにしても、日本の学校で学べるだけの十分な日本語力をつける必要があります。この仕組みは、我が国の養成校を卒業することが前提ですので、日本語学校や養成校の学費負担をどうするかも課題です。詳細は図2をご参照ください。

※日本語能力試験の認定レベル。N1（難しい）～N5（やさしい）まで5つのレベルがあります。

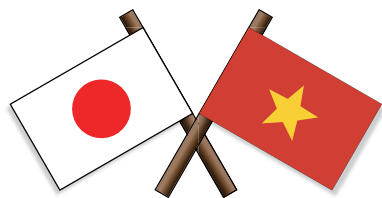


【図2】 在留資格「介護」の創設(出典:厚生労働省)

東京家政学院大学 教授 西口 守(にしぐち まもる)

「NPO法人ひとりとみんな」では、在留資格介護を取得する支援を行っています。
問合せ先：mamoru@kasei-gakuin.ac.jp

外国人介護職員を受け入れるための制度と実践 ベトナム人 介護福祉士候補生を 受け入れて



●社会福祉法人一石会
特別養護老人ホーム大洋園
副主任生活相談員兼EPA受入プロジェクト

さとう まきこ
佐藤 麻紀子

「求人を出しても人が集まらない、ここ数年頭を悩ませる問題でした。

そこで手を挙げたのがEPA（経済連携協定）による、ベトナム人介護福祉士候補生の受け入れです。昨年12月にベトナムでの合同面接会に参加し、5名の方が大洋園へ来て下さることとなりました。

そして5月末に来日。幕張研修センターにて、約2か月間の日本語教育や介護導入研修・就労ガイダンスを学んだあと、8月1日からいよいよ各施設での就労が開始となりました。

法人として初めての受入れということで、「何から始めれば良いのか」という漠然とした疑問について、各部署担当者と共に一つ一つクリアにしていくことからのスタートでした。

見ず知らずの土地での生活に不安がない人はいません。ですからその不安を少しでも和らげてあげることができるよう、生活環境の整備は特に慎重に行いました。

大洋園で働き始めてから、5ヶ月が過ぎようとしています。それぞれ日本語能力検定N2・N3の資格を所持しているため、日常生活での会話はおよそ可能です。しかし、業務を覚えながらご利用者と会話を弾ませるまでには、まだまだ時間がかかりそうです。

現在の勤務体制は火曜日～金曜日の日勤業務にプラスして、毎週月曜日は日本語能力の維持向上の為、専門学校への通学を支援しています。他施設の候補生と合同授業ということで、色々な意味での学びの場となっており良い刺激となっている様子です。

「日本語はとても難しいです。」と彼女達は苦笑いをする時もあります。しかし彼女達の素晴らしいところは、根気強く学ぶ姿勢があり、何よりも笑顔を決やさないことです。日本語の使い方も丁寧なので、指導者自身も初心に戻り学ばせてもらう場面があります。

コミュニケーション能力を日々高め、「3年後の介護福祉士国家試験に全員合格をする！」という目標が達成できるよう、これからも共に歩んでいきたいと思っています。



(平成29年9月17日)

ご家族懇談会にて、ベトナム人介護福祉士候補生5名が自己紹介と共に「海」の歌を手話付きで披露してくれました。

外国人介護職員を受け入れるための制度と実践

交際色豊かな職場へ

～スタッフが変わる・施設が変わる～

● 社会福祉法人鶴足津福祉会
特別養護老人ホームマイルドハート高円寺
施設長

すずき かずよ
鈴木 員世



ご利用者様と楽しくコミュニケーションしています



日本の文化を実際に体験しながら学んでいます



平成28年8月、法人本部のEPA介護福祉士候補者受け入れ実績を元に、当施設でも受け入れを決断しました。ベトナムより4人のEPA介護福祉士候補者がやってきました。受け入れ担当者は、事前学習や受け入れ準備に奔走しましたが、緊張で迎えた初顔合わせの日、準備したカタコトのベトナム語は、全く必要ありませんでした。初対面にも関わらず、彼らの凄まじい熱意を感じた事を今でも鮮明に覚えています。それから1年、週5時間の日本語の授業、授業のたびのミニテスト、現場での介護技術、施設外授業、スタッフとの交流、ベトナムの方同士のコミュニティの形成等、仕事も遊びも全力投球でした。彼らの熱意、勤勉さに周りも応えます。『教える』『教わる』ことへの意識が変わりました。相手を、ベトナムをもっと知りたいとお互いに関心を持ち、その関心は国境をも越えます。期待に応えることで、お互いのモチベーションも高まります。そして何より、ご入居者様・ご家族様より「言葉使いが丁寧で優しい」「熱意ある姿に勇気が湧いてくる」「EPAを受け入れて正解だったね」の言葉が耳に届く嬉しさは格別です。

これから、介護福祉士国家試験突破に向けた授業も本格化します。現在、日常生活に支障ない高レベルの日本語能力といえども、まだまだ学ぶべき言葉もあります。また電話対応や申し送り、受診付き添い、夜勤等も課題です。更に、国家試験合格後、果たして何人の方がこのまま私どもの施設で就労継続を希望してくれるのか、彼らにとっての魅力ある職場環境作りもすすめていきたいと思っています。

ここがポイント！次期報酬改定

● 淑徳大学コミュニティ政策学部 かがみ さとし 鏡 諭 教授

前号(「アクティブ福祉」第30号)から引き続き、平成30年度介護報酬改定について、淑徳大学コミュニティ政策学部 鏡 諭 教授に解説いただきます。

第2回 介護報酬改定のスケジュールと論点

報酬改定のスケジュール

平成30年度介護報酬改定は、前回お示した通り、財務省や官邸の意向を強く反映したものとなっており、ここでは給付額の伸びを縮減していく方向性は避けられないと予想される。社会保障審議会介護給付費分科会では、本年4月から夏頃までは各介護サービス等の主な論点整理を行い、秋頃～12月頃まで各介護サービス等の具体的な方向性について議論する。その後12月中旬に報酬・基準に関する基本的な考え方の整理・取りまとめを行うとしており、その動向には注意が必要である。

当初予定されている主な検討項目の例は次のとおりである。

- 通所リハビリテーションと通所介護の役割分担と機能強化
- 小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の、サービス提供量の増加や機能強化・効率化の観点から人員基準や利用定員等のあり方
- 特別養護老人ホームの施設内での医療ニーズや看取りに、より一層対応できるような仕組み
- 入退院時における入院医療機関と居宅介護支援事業所等との連携
- ロボット・ICT・センサーを活用している事業所に対する報酬・人員基準のあり方
- 介護医療院の報酬・基準や各種の転換支援策

その後、平成30年1月から2月にかけて、介護報酬改定案をまとめ、諮問・答申を経て、4月には介護報酬の改定が行われる予定である。

報酬改定の論点

平成30年介護報酬改定は、当初政府及び財務省の方針から伸び率が抑えられることが予想されていたが、3年前の介護報酬改定で2.27%の減額があり、事業者の経営が悪化していることをふまえて、微増の方向性が示されている。介護報酬の伸び率が抑えられることによるメリットとデメリットを整理する。メリットとしては、給付額が抑えられること、これにより利用者の保険料額も抑えられる。結果として、利用者負担額が軽くなる点にある。これに対してデメリットは、介護サービス事業者の経営が厳しくなる。事業所で働く介護職員の処遇に影響し、労働強化やベースアップのカットや賃金の引き下げが進む恐れがある。それにより、さらに介護人材の不足することとなる。介護人材が枯渇して、事業継続が困難になる地域も現れ、介護保険制度自体の信頼も大きく揺らぐことが懸念される。

(1) 生活援助の給付額の縮減

介護保険部会の議論では、介護給付の内訪問介護の生活援助サービスを縮減する議論があった。これは、訪問介護事業がいまだに家事労働の延長にしか見られていない事を意味する。家事援助で行うのは、掃除や調理、清掃など、従来家庭の中で行われてきた労働が中心であるとの考えである。

これに対して、生活援助が担う業務は、NPOやボランティアでも出来るものと、介護保険部会は考えており、生活援助のサービスを提供する訪問介護事業所の人員基準が大幅に緩和されることが予定されており、結果として報酬の縮減、ボランティアの参入がさらに促進されることとなる。介護給付は中重度者に手厚くすべきとの議論もあり、比較的要介護度の低い者に対するサービスは、非プロフェッショナルのサービス参入が進むであろう。

(2) 福祉用具

介護用ベッドや車いすなどの福祉用具のレンタルによって、比較的軽度の要介護者は、自立した生活を送ることが可能である。しかし、現行の仕組みでは福祉用具レンタル事業者が自由に価格を設定できることから、同じ種類の福祉用具でも価格のばらつきがあり、特に高い価格を設定する事業者の存在が問題とされている。そこで厚生労働省は、品目ごとに平均レンタル料を算出し、その上で上限額を設定する方針を決定している。

(3) 住宅改修

在宅介護を進める上で、住宅内の段差の解消や手すりの取り付けなど、居住環境が改善することで生活を維持することが可能となるため、1住宅1回まで20万円までの住宅改修が認められている。しかし、住宅改修には事業者の提供する内容や価格にばらつきがあるため、事業申請時に市町村に提出する見積もりの書式等を厚生労働省が作成するとした。施工費や原材料費等を明らかにすることにより、改修内容を市町村が把握できる仕組みを目指すものである。

介護保険事業の基本指針

平成29年7月3日に「全国介護保険担当課長会議」が開催され、「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」が示され、各市町村により第7期介護保険事業計画策定に向けて、準備が進められている。

◆「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」(案) について

以下は、平成29年7月3日に行われた「全国介護保険担当課長会議」資料を要約し、論点を整理したものである。

1 第7期基本指針の位置付け

- 基本指針では、第6期(平成27～29年度)以降の市町村介護保険事業計画は、「地域包括ケア計画」と位置づけ、2025年までの各計画期間を通じて地域包括ケアシステムを段階的に構築することとしている。
- 第7期(平成30～32年度)においては、第6期で目指した目標や具体的な施策を踏まえ、地域包括ケアシステムの着実な構築に向けた取組みを進めていくために、第7期の位置付けを明らかにすることが求められる。
- 市町村は、基本指針に即して市町村介護保険事業計画を定めることとしている。

2 第7期基本指針のポイント

- 高齢者の自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化の推進
- 「我が事・丸ごと」、地域共生社会の推進
- 平成30年度から同時スタートとなる医療計画等との整合性の確保
- 介護を行う家族への支援や虐待防止対策の推進
- 「介護離職ゼロ」に向けた、介護をしながら仕事を続けることができるようなサービス基盤の整備

3 基本指針の構成 ※吹き出しは国の考え方

第1 サービス提供体制の確保及び事業実施に関する基本的事項

■ 地域包括ケアシステムの基本的理念

- ① 自立支援、介護予防・重度化防止の推進
- ② 介護給付等対象サービスの充実・強化
- ③ 在宅医療の充実及び在宅医療・介護連携を図るための体制の整備
- ④ 日常生活を支援する体制の整備
- ⑤ 高齢者の住まいの安定的な確保

■ 2025年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向けた目標

地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の包括的支援体制の整備が市町村の努力義務

制度改正の理念「自立支援、介護予防・重度化防止」の明示

医療計画との同時改定を踏まえた整合性の確保、協議の場の必要性

鏡 諭(かがみ さとし)

淑徳大学コミュニティ政策学部教授。早稲田大学大学院社会科学部兼任講師、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師、関東学院大学法学部兼任講師。専門は、自治体福祉政策論。1954年山形県出身、1977年所沢市役所入庁、介護福祉課主査、高齢者支援課長、総合政策部政策審議担当参事を歴任後、2009年3月退職。同年4月から現職。

「ケアの底力、見せます。」

第12回 高齢者福祉実践・研究大会 「アクティブ福祉 in 東京'17」開催報告

- 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 アクティブ福祉in東京実行委員会
(文中コメント: 委員 大住 優・大久保 佳世・鈴木 健太、東京ケアリーダーズ 星野 龍一)

ご参加いただき、
ありがとうございました!



去る9月27日、標記大会を無事に開催いたしました。当日は、約1,400名の方にご来場いただきました。ご発表いただいた皆様、審査員の先生方、ご出展いただいた企業の皆様、スタッフ係員等でご協力いただきました皆様、そして大会を盛り上げてくださった参加者の皆様に心よりお礼申し上げます。

● 口演発表(全8会場 計69題) ● ポスター発表(全1会場 計10題)



上段: 口演発表の様子 下段: ポスター発表の様子

学生さんも
発表してくれたブル!

東京ケアリーダーズお仕事紹介コーナー



東京ケアリーダーズとして初めてブースを出しました!福祉に興味のある学生とメンバーが介護の仕事について沢山お話することができました。来年も機会がありましたら、是非いらしてください!



学生の相談に応じる東京ケアリーダーズのメンバー達



福祉機器等展示コーナー



色々な商品のご案内をいただきました!

荒木由美子さん 記念講演

お義母さまの介護の様子を語っていただきました。

今大会は施設のご利用者様もご参加いただきましたが(無料招待)涙を流しておられる方もいらっしゃいました。



着ぐるみも
新しくなりました!



優秀演題の表彰ならびに授賞式

受賞施設一覧 受賞施設の皆様、おめでとうございます! また来年も応募してほしいブル!!

★最優秀賞★

- 特別養護老人ホーム 多摩済生園(社会福祉法人 多摩済生医療団)
- 特別養護老人ホーム 砧ホーム(社会福祉法人 友愛十字会)
- 西部地域包括支援センター(社会福祉法人 フロンティア)
- 特別養護老人ホーム ゆうあいの郷六月(社会福祉法人 聖風会)
- 鶴川第1高齢者支援センター(社会福祉法人 賛育会)
- 特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム(社会福祉法人 一誠会)
- 特別養護老人ホーム ウエルガーデン 西が丘園(社会福祉法人 ウエルガーデン)
- 特別養護老人ホーム いずみの苑(社会福祉法人 東京援護協会)
- 特別養護老人ホーム 中川園(社会福祉法人 仁生社)

★奨励賞(アクティブ福祉in東京実行委員長賞)★

- 特別養護老人ホーム 吉祥寺ナーシングホーム(社会福祉法人 至誠学舎東京)
- 特別養護老人ホーム 多摩済生園・多摩済生ケアセンター(社会福祉法人 多摩済生医療団)
- 光陽苑デイサービスセンター(社会福祉法人 泉陽会)
- なぎさ和楽苑ケアセンター(社会福祉法人 東京栄和会)
- 特別養護老人ホーム 赤羽北さくら荘(社会福祉法人 東京都福祉事業協会)

★奨励賞★

(日本介護福祉士養成施設校協会 関東信越ブロック協議会委員長賞)

- 特別養護老人ホーム 多摩済生園(社会福祉法人 多摩済生医療団)
- グループホーム マイライフ徳丸(社会福祉法人 北野会)

★奨励賞(東京都介護福祉士会長賞)★

- 特別養護老人ホーム 多摩の里 むさしの園(社会福祉法人 園盛会)
- 特別養護老人ホーム 多摩済生園・多摩済生ケアセンター(社会福祉法人 多摩済生医療団)

★奨励賞(特別賞)★

- 東京福祉保育専門学校(学校法人サンシャイン学園)
- 日本福祉教育専門学校(学校法人敬心学園)
- 東京福祉保育専門学校(学校法人サンシャイン学園)



受賞施設の皆様で記念撮影



次回大会(「アクティブ福祉in東京'18」)は平成30年9月28日(金)開催予定です。

*開催が近づきましたら改めてご案内いたします。

「東京の介護ってすばらしい!グランプリ」 受賞者決定!

●東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 情報・広報室 広報戦略推進委員会

■高齢者福祉施設から介護の魅力を広く伝えたい

このグランプリは、高齢者福祉施設における日常のさまざまな場面にスポットをあてながら、介護の仕事の魅力を広く伝える目的で今年度より開催するイベントです。

今年度は、①介護職員が現場で着用する「ユニフォーム」部門、②高齢者福祉施設で利用者に提供する「食事（ランチ）」部門、③日頃の想いを伝える「メッセージ」部門の3部門について、高齢者福祉施設・事業所の職員・利用者・ご家族より応募いただきました。

3部門受賞施設(作品)の発表

12月2日(土)に行われたトークイベント「東京の介護ってすばらしい!」内で、受賞施設(作品)の表彰式が行われました。

各部門の受賞施設&作品一覧

ユニフォーム部門

- 👑 最優秀賞 高齢者福祉施設 神楽坂
- 👑 優秀賞 富士見台特別養護老人ホーム
- 👑 優秀賞 偕楽園ホーム
- 🌿 審査員特別賞 アゼリーアネックス
- 🌿 審査員特別賞 愛全園
- 🌿 審査員特別賞 デイサービス博水の郷



メッセージ部門

- 👑 最優秀賞 おかあさんのしごと
- 👑 優秀賞 人生のオーラス
- 👑 優秀賞 東京の母へ
- 🌿 審査員特別賞 三人四脚の介護生活
- 🌿 審査員特別賞 いつまでもお母さん
- 🌿 審査員特別賞 言葉にできない 思い
- 🌿 審査員特別賞 帰宅
- 🌿 審査員特別賞 介護士ンガーの思い
- 🌿 審査員特別賞 笑顔に優る介護なし
- 🌿 審査員特別賞 すばらしい介護と私の再発見
- 🌿 審査員特別賞 あなたの後ろ姿は、カッコいい!
- 🌿 審査員特別賞 600歳まつり
- 🌿 審査員特別賞 どっちがケアする側なのやら...

ランチ部門

- 👑 最優秀賞 清明園/
浅川ホーム
- 👑 優秀賞 愛生苑
- 👑 優秀賞 新町光陽苑
- 🌿 審査員特別賞 神明園
- 🌿 審査員特別賞 偕楽園ホーム
- 🌿 審査員特別賞 上石神井特別養護老人ホーム
- 🌿 審査員特別賞 社会福祉法人アゼリヤ会
- 🌿 審査員特別賞 足立翔裕園



次号では、グランプリの審査会やトークイベント「東京の介護ってすばらしい!」の様子を詳しくお伝えするブル!

施設廃止に向けて

● 社会福祉法人養和会 八丈老人ホーム 施設長 ささき ももこ 佐々木 百子

社会福祉法人養和会八丈老人ホームは昭和42年に開設し、地域で初めての社会福祉法人として、また当時は唯一の入所施設として半世紀にわたり地域住民に福祉を提供してきました。

「養護老人ホーム」という事もあり開設当時は殆どの方がお元気で、昭和50年に飛行場拡張に伴う移転の際には、利用者が自主的に建設現場へ足を運び、整地作業に汗を流したと聞いております。地域との交流も盛んで、「老人ホームの運動会」は町民の一大イベントとして大盛況でした。特養が併設された現在は、旧盆の帰省時期に合わせた「夏まつり」や「介護の日」にご家族や地域の皆さんとの交流会を実施しています。

介護保険の導入以降、時代の流れと共に利用者のニーズがさまざまに変化する中、養護老人ホームのあり方も変わり、平成18年の法改正では終の棲家から社会復帰を支援する施設に位置付けられました。高齢により既に要介護状態となった利用者のケアには、基準の職員数を超えた配置が必要であり、老朽化による建物や備品の修繕に追われながらも、何とか施設を運営してきましたが、平成23年度頃からは定員割れが生じ始めました。定員を減少変更しながら規模を縮小してきましたが、事業を継続すればするほど経営は厳しくなるばかり。平成28年7月、入所定員20名、実入所者数17名の時点で入所者の身体状況や要介護度等を考慮して施設廃止の最終判断を行い、平成29年度末をもって廃止とすることを決断しました。

地域への広報を行うと共に、利用者やご家族への説明と意向の聞き取りを踏まえ、先ずは介護度の重い方から順に当法人併設の特養への入所を実施しました。特養対象外の方は、措置権者である八丈町と都内養護老人ホームの皆様方のご協力を頂き、措置替えという形で受け入れをお願いしてきました。現在数名が入所待ちとなっています。

措置とはいえ、住み慣れた地域を後にして今更知らない場所で暮らさざるを得ない利用者の方々の心情を思うと切ない気持ちでいっぱいになりますが、廃止が決まってからは利用者・職員ともに楽しい思い出づくりに努めてきました。いつかまた八丈島に戻り、再会できることを願っています。



島をあげての老人ホームの運動会



冬の朝の体操

共助の力で安全に長く 生活が続けられる施設を目指して

● 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠和光ホーム 施設長 なかがわ のりお 中川 謙夫

至誠和光ホームは昭和38年に開設し、来年は55年の節目を迎えます。立川市の南、多摩川沿いの緑豊かな地域にあり、50名の入居者が生活しております。

軽費老人ホームA型である当施設は、入居者についてはほぼすべての方が入居時には自立した状態です。健康面や経済面で不安のある人、賃貸住宅の老朽化により退去を迫られた人、家族関係など入居理由は様々ですが、介護保険施設以外にも高齢者の住まいに関する多くのニーズが社会に存在していることを運営しながら実感しています。

施設での生活は基本的には入居者のペースで自由に過ごせますが、食堂での食事や共同浴場での入浴、防災訓練など、施設ならではの集団生活というものもあります。

最近入居者で組織する自治会でよく話題となるのが、入居後要介護状態や認知症となった影響により、集団生活に支障が出てきた入居者への対応についてです。

幸い当施設では、前施設長の時代から入居者同士が役割意識を持ち、困った時はお互い支え合うということが良い伝統として根付いています。

そのため、自治会の役職や共有物の片付け、掃除当番といった役割について、支援が必要となった入居者のできることでできないことを入居者同士で話し合い判断し、負担の軽減や役割の変更をしていくことがあります。私たち福祉職としては頭の下がる思いです。

公助のあり方について先行き不透明な今だからこそ、そのような伝統を大切に、軽費老人ホームでの生活が長く続けられるよう入居者同士共助の力をお借りしながら支援していくことが、入居者全員の利益になると考えております。

そして、この入居者同士の協力体制が、入居者が自立支援・介護予防という考えを理解し、大規模災害等緊急時の備えにもつながると考え、職員一同日々取り組んでおります。



入居者の非常食調理体験



入居者向け高齢者の障害を理解する勉強会

新潟県内支援センターとの 交流研修開催!

●東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 センター分科会 支援センター分会

■在宅の高齢者を守るために

地域包括・在宅介護支援センターは、地域で暮らす高齢者を支える施設です。その支援センターは、災害が起きた時、高齢者を守るために何をすればよいのでしょうか。

今回、2004年の中越大地震・2007年の中越沖地震を経験した新潟県の地域包括・在宅介護支援センター等との交流研修を実施させていただき、災害時の実際の支援を学ばせていただきました。

行程	
10月19日 (1日目)	研修会「災害が発生したら…その時、何をすべきか」 (1)事例報告 ①「災害介護支援チーム DCAT活動について」 ●佐々木 勝則 様(社会福祉法人桜井の里福祉 会専務理事・総合施設長) ②「2004年10月23日 新潟県中越大地震におい てケアマネジャーが果たした役割」 ●井佐 恵子 様(白ふじの里指定居宅介護支援 サービスセンター センター長) ③「東京での災害対策の検討状況について」 ●今 裕司 氏(あすなるみんなの家 施設長/東 社協東京都高齢者福祉施設協議会災害対策委員会) 「駒込地域包括支援センターのBCPIについて」 ●新堀 季之 氏(駒込地域包括支援センター セ ンター長/東社協東京都高齢者福祉施設協議会 災害対策委員会) (2)情報交換会
10月20日 (2日目)	施設見学 ①燕市分水地区地域包括支援センター ②燕・弥彦医療介護センター



事例報告に聞き入る参加者

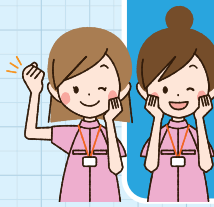


グループでの情報交換では具体的な話が弾んだ

■災害時の支援を考える

研修会終了後、本会の参加者からは以下のような声が寄せられました。

- 実際に被災された生の声からの学びが大きかったです。
- 災害についてぼんやり考えていたことを自分の中で考え直す良い機会になりました。できること、やれることは何か、自分のできる範囲を知ることが大切だとつくづく思いました。職場で、自分たちの身に置き換えて考えていきたいです。
- 新潟中越地震の状況だけでなく、その後の取り組みまで知ることができ大変参考になりました。
- 災害発生時の対応だけでなく、他県の災害時に直ぐに対応できる体制を確立していることに驚きました。
- 2日目の施設見学でも、認知症地域支援推進員や在宅医療・介護連携推進事業の取り組みについて説明をしていただき、とても勉強になった。
- 他地域の方との交流機会は望ましいことであるが、思ったより東京の方との交流機会が少なかったことに気が付きました。いろいろな機会があると、他地域のみならず、東京でのネットワークも広がり、有益な事だと思います。



東京ケアリーダーズ メンバー紹介



平成28年秋に発足した若手介護福祉士で構成する東京ケアリーダーズ。
前回に引き続き、選出ブロック順にメンバーを紹介します。

八王子ブロック

社会福祉法人アゼリヤ会 特別養護老人ホームみやま大樹の苑 介護職 ほそがね さやか 細金 沙耶加

私は介護関係の短大を卒業し、みやま大樹の苑へ就職しました。入職9年目を迎え、班長を務めています。

現場での仕事は同じ日が一日もなく、毎日違った表情をみせてくださる入居者さんと楽しい日々を過ごしています。もちろん大変なこともあります。感謝される喜び、入居者さんから教わる学びも多い仕事です。技術や知識はもちろんですが、入居者さんとの信頼関係がとても大切だと思います。「あなたが居ると安心出来るよ」と言っていただけだった時の嬉しさが介護職の醍醐味かなと感じています。

「介護」というと、世間からネガティブなイメージをもたれがちです。そんなイメージを払拭して、自分の体験を通して学んだこの仕事の素晴らしさや楽しさを多くの人に知ってもらえるよう、東京ケアリーダーズとして活動していきます。



社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム 介護職 たなべ あやか 田名部 彩香

私は東京都八王子市にある社会福祉法人一誠会 特別養護老人ホーム偕楽園ホームにて入職3年目の介護職員として働いています。私が東京ケアリーダーズに参加したきっかけは、職場の上司からの推薦でした。

今までお年寄りに関わる機会がなかったのですが、介護職として働き出してから、人生の大先輩であるご利用者の方から教えていただくことがたくさんあります。介護の仕事は素晴らしい仕事だと思っています。これからもご利用者の人生に寄り添い、ご利用者それぞれが思う理想の人生を送れるよう支援していきたいです。



南多摩ブロック

社会福祉法人大和会 特別養護老人ホーム愛生苑 福祉課 フロアコーディネーター おおた まさと 太田 将仁

私は大学を卒業後、派遣職員として「愛生苑」に就職し、その2か月後、正式な介護職員として勤務することとなりました。現在は入職6年目となり、リーダー職として担当フロアのチームケアの向上を目指し日々取り組んでいます。

介護人材不足の深刻化・長期化が懸念されている状況で「介護職員である自分でも何か出来ることはないだろうか?」と思い、東京ケアリーダーズに参加しました。

介護の仕事の魅力は様々あると思いますが、私個人としては利用者やご家族が望むケアサービスを提供できたと感じた時の充実感や達成感だと思います。

「介護」というキーワードを聞いてプラスのイメージをもたれる方は多くないように感じます。しかし、実際に介護に携わることで得られる感動ややりがいは必ずあるはず。東京ケアリーダーズの活動を通して、私自身の体験ややりがい等を魅力として伝えていき、少しでも多くの方に介護の仕事に関わるきっかけになればと思います。



北南ブロック

社会福祉法人たま紫水会 特別養護老人ホームみたか紫水園 ケアワーカー たかはし まさゆき 高橋 雅之

私の働いている「みたか紫水園」は、その名のとおり三鷹市にあり、今年で開設8年目を迎えました。H.E.R.(Hospitality: Expertise: Relief)を運営方針に掲げ、多様化する高齢者介護のニーズに対応し、優しさや安らぎのある介護サービスを提供するべく、日々業務に励んでいます。

その中で私は、12あるユニットのひとつに所属し、ケアワーカーとしてご利用者の生活のお手伝いをさせていただいております。1ユニット最大10名のご利用者それぞれのニーズに応じていくのはとても大変ですが、同じユニットの職員同士や相談員・看護師など多職種で連携して問題に取り組んでいけるのは、この仕事の大きな魅力のひとつだと思っています。

私がケアリーダーズに参加したのは、当時自分の中で介護の魅力や今後の目標が思いつかず悩んでいた時、相談員から誘いを受けたのがきっかけでした。ある程度年齢の近い介護職員が集まる場所なら、なにか参考になるのではないかと考えたのです。研修や活動に参加するたびに、毎回新しい刺激を受けることが出ています。

ケアリーダーズの活動内容に「介護の魅力を伝える」というものがあります。私はぜひ「皆に介護の魅力を知ってもらえる場所をつくる」ことが出来たら良いなと思っています。介護のことを知らない方にも、これから介護を始めようとしている方にも気になってもらえるような活動をしていきたいと思っています。



私の心に残るエピソード



施設での看取りから学んだこと



●社会福祉法人浴風会 南陽園 主任看護師 入江 里美 いり え さとみ

私は病院勤務15年を経て、現在は特養の看護師として勤務しています。

当園でも看取りを行う方が増えてきました。ご利用者の虚弱化、高齢化に伴い、入院するよりも、施設で余命を全うしたいと願う方が増えてきたと感じています。

アルツハイマー型認知症で75歳の時に当園に入園されたS様は、当初はご自分で歩かれていました。

2年後には口に入れたものが上手く飲み込めなくなり、食事量も減って来ました。アイスクリームやチョコレートなどお好きな甘いものは笑顔ですぐ飲み込まれるものの、それ以外は殆ど召し上がれなくなりました。

大腸癌が疑われましたが、ご家族は検査を望まれず、配置医師との面談で当園での看取りを希望されました。「本人が辛い普段の生活を送ること」が強いご意向でした。

看取り介護開始後も、毎日のようにご家族が来園され、今までどおり車椅子で散歩し、お好きなものを召し上がって過ごしていただきました。「Sさん、今日は顔色が良いですね」と声掛けをするとニコッとされた、あの笑顔が忘れられません。

ある日、ご家族から「以前のように歩かせてほしい」とのご希望がありました。看取りを希望されながら、それでも現実を受け止め難いご家族の揺れ動く思いを強く感じ、看護師として葛藤もありました。

それから1週間後、急に呼吸状態が悪くなり、駆けつけた娘さんの「お母さん、有難う」の言葉を最後に旅立たれました。最初の看取りカンファレンスから2か月後のことでした。

私が病院で仕事をしていた時は治療優先で、感情に流されては仕事にならないことも多く、割り切って看護業務を行うことで精一杯でした。

S様の看取りを通して、ご本人とご家族が最期の過ごし方を決められるように思いを聞くこと、そして最期の時間を悔いなく過ごせるように多職種と連携し、ケアすることが私たちの大切な役割であることを学ばせていただきました。

今月の表紙
外国から来た介護職員さんにも、一生懸命お仕事しています。アクティブもお手伝い。人の生活を支える仕事のすばらしさはどの国も一緒だね。

今月の表紙

情報・広報室 広報戦略推進委員会
副委員長 特別養護老人ホーム三ノ輪
施設長

勝又 宏

編集

後記

広報戦略推進
委員会は、今年
の4月から広報

誌・ホームページ・イベントの3つのワーキングチームに分かれ活動を行ってきました。また、広報アドバイザーの村井先生の助言も受けながら、それぞれ、新たな取り組みにも挑戦してきました。

2018年は、さらに介護人材不足の問題や、介護報酬改定による給付額の縮減など、非常に厳しい年になりました。

そんな逆風を吹き飛ばせるように、室長を筆頭に、広報誌・ホームページ・イベントの3つのワーキングチームが連動し、読者の心を動かす「広報戦略」ができるように取り組んでいきたいと思っております。

東京都高齢者福祉施設協議会のフェイスブックも随時更新していきますので、是非ご覧下さい。

Active
Fukushi

第1回 福祉職場の

リア充さん!



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会
マスコットキャラクター「アクティブル」

こんにちは！東京都高齢者福祉施設協議会のアクティブルだブル。介護や福祉の仕事って「大変」「キツイ」って聞くとあるけど本当かな？今号から、ボクが仕事やプライベートを楽しみながら福祉職場で働く「リア充」さんを紹介していくブル！介護・福祉の仕事の本当の魅力にせまるブル！

今回のリア充さん



なかむら としかず
中村 俊一さん

社会福祉法人福信会
特別養護老人ホーム麦久保園

アクティブル：まずはお仕事について、教えてほしいブル！

中村さん：私は現在、特別養護老人ホーム麦久保園で介護職として働いて8年6か月です。知人に「介護に向いてそうですね」と言われて、この業界に興味湧いたため、就職しました。

アクティブル：お仕事はどうだブル？

中村さん：職員同士でご利用者様に対する気持ち・想いを統一できず、行きたいケア・介護が進まない時に大変さを感じますが、ご利用者様の本人らしい生活を考え、ご利用者様に気持ちと行動で伝えることがやりがいとなっています！

アクティブル：介護の仕事をするうえで、ステキな学びがあったそうだブルね。

中村さん：はい。2017年5月23日に、「～高口光子の元気が出る介護塾～何のために介護していますか？」という研修で、高口光子さんの講義に参加しました。高口さんのお話に共鳴し、自分が目指している介護のカタチが明確に見えました。

アクティブル：ところで仕事以外の時間は何をするのが好きだブル？

中村さん：妻と子どもと出かけたり、友人とフットサルやサッカーを楽しんだり、一人の時は車をいじったりして、リフレッシュしています！

アクティブル：仕事もプライベートも充実しているブルね。最後に介護職を目指すみなさんに一言お願いブル！

中村さん：何のために介護をしているか、一緒に考えましょう！素敵な世界が待っていますよ！



ご利用者様への食事介助は重要な支援



家族と一緒に出かけ



今回のお出かけは魚釣り！

社会福祉法人福信会

特別養護老人ホーム麦久保園

所在地:あきる野市草花2219 TEL:042-550-2201 FAX:042-550-2218

麦久保園は草花丘陵の一角、羽村の堰を眼下に見下ろす高台にある従来型の特別養護老人ホームです。施設には、見晴らしの良い東屋があり、天気の良い日はスカイツリーが顔を出します。敷地内には花期が異なる桜が多品種植えられ、春は開花リレーが風物詩となっています。四季折々の各イベントは、笑いとユーモアを第一にスタッフが奮闘しています。常設の喫茶・売店、看板娘の熱帯魚、手づくりの食事などが好評です。今年から近隣の草花苑さんと共に、地域(折立町内会)の町内会館で行う「Ori Café」(移動図書館、出張本格喫茶、出前イベント)を行い、地域の方と共に歩む施設を目指しています。

あなたの施設の「リア充」さん募集中!自薦・他薦は問いません。掲載を希望する方は事務局にぜひご連絡ください。